

は学内の指定された場所で写真を撮って作成する必要があったので、配布された書類を持参して手続きをし、発行してもらいました。

また、他の留学生との交流イベントも多く開かれ、シティの中心部を巡るバスツアーや牧場ツアーに参加しました。加えて、IESNという留学生の交流イベントを主催する組織に加入（登録料4ユーロ、カード発行料10ユーロ）し、大学内のクラブで開かれたインターナショナル・パーティーなどにも行きました。とても盛り上がって楽しいのですが、帰りが遅くならないように注意することがマストです。特に学外に住む人は気を付けた方がいいと思います。

4. 買い物

食器や小物入れなど生活に必要な物は、DCU近くのIKEAで大体揃います。私の学生寮は、フライパンなどの基本的な調理器具が揃っているので助かりましたが、他の学生寮にはないという話も聞きました。

アイルランドにはUNIQLOがほとんどないので、ヒートテックは多めに持ってくることをお勧めします。服は大体、DCU近くにあるOmni Shopping Centreの中のPennysで購入しています（日本でいうGUのような衣料品店です）。とても安いです。

食料品や日用品は、先に触れたOmni Shopping Centreの中にあるTESCOかLidlで買っています。TESCOはSt. Patricksキャンパスの目の前にもあるので、このキャンパスで授業がある日は帰りに買い物しています。TESCOはほぼセルフレジなので、あまり現地の人と会話できず少し残念です。

5. 交通

IKEAやシティの中心街に行く時は、いつもダブリン・バスを利用しています。中心部までは片道大体2.5ユーロかかります。小銭のみでぴったりの運賃を乗車時に支払わなくてははいけません。私はDCU内でStudent Leap Card（発行料10ユーロ）を作りました。日本でいうICOCAのようなカードです。場所によっては提示すると割引や特典が受けられるし、小銭を持っていなくてもスムーズにバスに乗れるので便利です。

6. 観光

週末にはずっと訪れたかったトリニティ・カレッジの図書館に行くことができました。ケルズの書と図書館の中を見ることができ、その荘厳さに感動しました。オンラインで入場券を買った人と、当日券を買う人とで並ぶ列が分かれていましたが、そこまで待つこともなく入場できました（私の時は、入場料12ユーロでした）。今度行く時はオンラインで買っておこうと思います。

また、中心街にはレストランとしてお昼から開いているパブも多くあります。フィッシュアンドチップスがリーズナブルなのにとても美味しかったので満足しました。お土産物屋さんやカフェも多く、アイルランド人の友達に紹介してもらったカフェにまた行ってみたいと思います。

7. 英語

アイルランドの英語はとても早く、言葉を飲み込むように話すので何を言っているか分からないときがあります。また、他の国からの留学生と会話するときも、それぞれの言語特有の訛りが出るので、まだまだ難しいです。日本にいる間にTED Talkや海外ドラマなどで英語を聴き、慣らしておいた方が有利です。これから4カ月という限られた時間の中で、しっかり鍛えていきたいと思っています。

1. INISについて

先月の報告書でINIS登録に必要なものを述べましたが、追加で英文の海外保険証も必要です。失礼致しました。予約時間の30分前ほどに来ておくことをお勧めします。ただ、あまり早く来すぎると受付で怒られる可能性もあるので注意してください。私の登録は、その日の受付人数が少なかったのか、大体一時間ほどで終了しました。IDカードは約一週間後に届きました。現地での年齢確認証になるので、携帯しておくとう便利です。

2. DCU学生寮

キッチンとリビングルームが共用ですが、大抵散らかっています。こまめに掃除することが必要です。ごみの分別を促進するワークショップなどの参加が義務付けられています。シャワーは、午前7時から午後11時までしかお湯が出ないので注意してください。この時間外でシャワーを浴びたら、ずっと水でした。また、暖房が弱いので上着やブランケットで暖をとっています。

3. Water Warning

アイルランドの浄水施設のミスで汚染水が混入し、水道水の使用禁止の警報が発動しました。煮沸すれば問題なく使えます。また、トイレとシャワーのお湯も問題ないそうです。

4. 交通

シティセンターからタクシーで帰らなければいけなくなった時がありました。FREE NOWという、近くのタクシーを検索して呼べるアプリが便利です。料金は、タクシーにもよると思いますが、私が利用したときは、DCUのGlasnevin Campusまで大体20ユーロでした。

5. サークル

私はJapanese Societyに所属しています。毎週木曜日にはイベントと、月曜日と金曜日のお昼にLanguage Exchangeが開かれています。シティセンターでのカラオケパーティーや、31日にはHalloween Partyがありました。日本から持ってきた仮装で参加し、ゲームやお喋りを楽しみました。そのパーティー内でBest Dresser賞をもらえたのがとても嬉しかったです。今年は過去最多の人数らしく、日本人も多いです。

加えて、IESNというサークルにも加入しています。こっちのサークルは、海外からの留学生が多いです。気が向いたら参加する、という形にしています。理由は、ほとんどのイベント一つ一つにお金がかかるからです。来月は、このサークルが企画するスコットランドのエディンバラ旅行に参加する予定です。

また、Journalism Societyに所属したくてメールを送ってみたのですが、返信がありませんでした。もしかすると、あまり活動していないサークルなのかもしれません。ですが、現在ゲール語に興味を持っているので、Gaelic Societyに所属できるか確認しています。

6. LCS (Language Cultural Space)

友達と日本文化をプレゼンするイベントを現在計画しています。来月からイベントが始まるので、詳細は次回の報告書で述べます。

7. 観光・娯楽

同じサークルで仲良くなった子たちと、ご飯を食べに行ったりしました。ダブリンに来てみて驚いたのが、現地の子たちの間で日本食や韓国風のご飯が人気な事です。一緒に行った韓国料理屋さんで、ほぼ日本の本物の寿司を食べることができました。

また、授業の合間を見て、ダブリン城とオスカー・ワイルド像を見に行きました。ダブリン城は、受付の男性のノリが良く、お城に入る前から笑っていました。入城料は学生6ユーロでしたが、それ以上の価値がある、と思うほど綺麗でした。

8. 卒業論文

私の卒業論文のテーマは現在受講している授業と関連しているので、資料が集まりやすいし理解も深まります。学内の図書館は、キャンパスによって所蔵してある本の種類や分類が違うので、事前に資料検索しておくことをお勧めします。ただ、課題が多いのであまり卒業論文に時間が割けておらず、少し焦っています。これから集中したいと思います。

9. 英語

同じサークルの友達は、日本語を勉強している子が多いので、お互い自分の母語を教えあっています。また、ハウスメイトのアイリッシュの女の子が、発音の仕方や新しい表現を教えてくれることもあります。ここに来て約2カ月経ちましたが、ようやく英語の速さに慣れつつあります。発音や流暢さも大切だとは思いますが、伝えようとする努力が最も大切だと改めて感じました。

ここでの生活にだいぶ慣れ、友達もできて充実した生活を送っています。勉強は大変ですが、やりがいがあります。

III. 生活編

1. 出発前に購入すべき物

先の月間報告書でもいくつか触れましたが、2カ月生活してみてやはり必要だったと思う物を挙げていきます。

(1) コンタクトレンズの消毒液もしくは1Dayコンタクトレンズ

普段はコンタクトレンズを着用して生活している方も多いと思います。アイルランドでコンタクトレンズの消毒液を購入しようと思うとかなり高額なので、スーツケースに余裕があるならば日本で購入して持っていくことをお勧めします。もしくは、1Dayコンタクトレンズを購入しておく方が良いと思います。

(2) マスク

アイルランドではマスクを着用する人はほぼいません。アイルランドの文化では、「マスクをする＝それほど重い病気」と捉えられるそうです。私はひどい風邪をひき、咳が出て辛かったのでマスクを購入しようと思い薬局や店を探しましたが、どこにもありませんでした。あったとしても高額だと思うので、念のため持っていく方が良いと思います。

(3) 自分の使い慣れている文房具

現在、自分が日本にいたときから使用しているペンが切れそうで少し焦っています。勉強するにあたり、やはり自分の使い慣れた文房具の方が集中できる、という方もいると思うので、多めに持ってきておいてください。日本でよく見る文房具（消せるボールペンなど）をアイルランドで見たことがないです。

(4) カイロ

アイルランドはやはり寒いので、カイロなど体を温められるものを持ってきておくと重宝すると思います。

(5) レンジ調理用のタッパー

私は学生寮に住んでいますが、キッチンのコンロは熱くなるのがとても遅いので、パスタを茹でようと思うと少し時間がかかります。勉強などが忙しくなると、どうしてもご飯を作るのも面倒くさくなるかと思うので、100円ショップなどで購入できるレンジで調理できるタッパーがあれば便利かと思います。

2. 学生寮

11月前半頃に、学生寮の点検がありました。DCUのResidenceスタッフが部屋に入り、シャワールームやトイレなどを点検しました。共用のキッチンとリビングも点検されます。私の寮は大丈夫でしたが、他の寮ではキッチンが少し汚れていたため罰金請求が来ていました。点検日前に連絡メールが来るので、点検日までに掃除しておいてください。

3. LCS (Langua Cultural Space) イベント

他の日本人留学生と一緒に、アイリッシュや他国からの留学生に向けた日本文化のイベントを定期的で開催しています。9月のオリエンテーションで事前に説明を受けますが、LCSとは他言語習得のための文化交流イベントを開催する組織です（KUFUSというNINJAのような場所です）。3回以上イベントを企画・開催するとLCSからCertificationが授与されます。イベントを開催するにあたり最も難しいことは、来てくれる学生の言語レベルの設定です。それによって私たちが日本語で話すべきか英語で話すべきかも変わってきますし、イベントの内容にも反映されるので毎回頭を悩ませています。ですが、他国の学生に日本のまだ知られていない文化を知ってもらう良い機会なので、とてもやりがいがあります。また、ディスカッションや会話から他国の文化との交流もできるので楽しいです。ちなみに、私たちのイベントテーマは、1. 御朱印 2. 和菓子と日本文化 3. 日本の大学生生活（12月12日開催予定）です。

4. サークル

友人が新しくTea Societyを立ち上げ、誘ってもらったので入会しました。毎週月曜日の11～13時と、火曜日の18～21時にイベントがあります。色々な紅茶やお菓子が用意してあるのも嬉しいですが、新しい人々と話せる機会が多いのでとても楽しいです。また、先月述べたJapanese Societyのイベントにも毎週行っています。こちらのイベントは毎週月曜日と金曜日の14～16時にLanguage Exchangeイベントと、木曜日の18時30分から本イベントがあります。キャラ弁を作ったり、ジブリ映画を鑑賞したりしました。他の学科の友達と会える機会でもあるのでとても楽しいです。

5. Edinburgh Trip

11月4～10日の週はReading Weekで授業が全て休みでした。なので、IESNが主催のScotland Edinburgh Trip（11月4～7日）に参加しました。費用は、 hostel代、Edinburgh Airportから hostelまでの往復タクシー代、往復航空券代すべて合わせて200ユーロでした。IESNが提示するガイド付きツアーは一つ一つにお金がかかるので注意してください。また、衝撃的だったのは hostelが男女共同部屋だったことでした。

それらの点以外は、Edinburghを楽しく観光することができました。Edinburgh CastleやBotanical Garden、Scottish Whisky Experienceなどを訪れました。また、食べ物も美味しかったです。

6. 卒業論文について

私の卒業論文の研究内容は、現在受講している授業と関連が深かったので、構成や資料集めなどは比較的早くできました。ただ、やはり他の課題と重なるとそちらを優先しなくてはいけないので、なかなか進むことができなかつたのが歯がゆいです。先生へのメールの返信も遅くなってしまうので、やはりこっちの授業との両立は大変だ、と改めて感じました。ですが、大変な分より深い研究ができます。

今月は終わり頃に風邪をひいてしまい、寝込む日もありました。体調管理にはしっかり気を付けてください

III. 生活編

1. 病院

11月後半から風邪をひいてしまい、12月に入っても回復しなかったので病院に行きました。私は課題や卒論に追われていて外の病院を探している暇がなかったので、DCU内にある病院に行きました。（後から友達に聞きましたが、DCUの近くの病院では学割が効くそうです）。行ってそのまま診察ではなく、まず最初に予約する必要がありました。ですが、予約時間を過ぎてもなかなか診察の順番が回ってきませんでした。加えて、診察前に現金で支払いを済ませます。私の時は20ユーロでした。海外保険に入ってはいましたが、DCUの病院でも適用されるのかは不明です。診察は2回あります。医学用語が少し難しかったですが、なんとか会話できました。薬は病院の処方箋を持って、DCU内の薬局で購入しました。

2. 学生寮の水道トラブル

私のハウスのみの問題でしたが、誰かが水道に食べ物をそのまま流したらしく、水道システムの異常が起きました。修理が終わるまでキッチンの水道が使えず大変不便でした。修理後、寮のオフィスからメールが届き、食べ物を水道に流したら罰金を科すという警告を受けました。

3. クリスマスデー

DCUの授業最後の週に、クリスマスデーと言われる日がありました。多くの学生がNubarやNubarの隣のディスコに行き、派手に騒いでいました。私の寮のキッチンでも大規模なパーティーが開かれ、あまりの人の多さと騒がしさにセキュリティガードが警告に来ていました。また、誰かがふざけて私の部屋のブレーカーを落としてしまい、充電ができなくなってしまったので、少し困りました。皆とても酔っぱらっていて、中には自制できない人もいたので、何が起るか本当に分かりませんでした。節度を持って参加する分には楽しいと思いますが、本当に気を付けてください。

4. 卒業論文

無事に完成させ、提出することができました。DCUの授業の課題や試験と並行しての論文作成だったのでとても大変でした。また、先生とのメールも、私が風邪で寝込んでしまったり他のことで忙しかったりなどで、早めに返信できなかった時があったので申し訳なかったです。私が質問したことへの答えや卒論に関する情報を丁寧にメールで知らせてくださり、先生には本当に感謝しています。

5. イベント・サークル

DCU最後の週は、クリスマスが近いこともありサークルやDCUが様々なクリスマスイベントを開催していました。卒論で大変でしたが、可能な限り参加しました。

DCUの学生寮に住んでいる学生限定のイベントでは、DCUからのプレゼントとお菓子を楽しみました。

Tea Societyでは、お菓子とお茶を楽しみながら、クリスマスカードを描いたり友達とお喋りしたりしました。皆でふざけてたくさん写真を撮りました。

Japanese Societyでは、ケンタッキーを食べながらここでも友達とたくさん喋りました。とても楽しかったです。私は一学期間のみの留学なので、これが最後のサークルイベントでした。名残惜しいですが、この2つのサークルでの時間は本当に素敵な思い出です。

6. LCSイベント

LCS関連でイベントを3回以上開催すると、Certificationが授与されます。後にメールが来ますが、一つ一つのイベントの報告書提出が求められます。DCU最後の週で開催されたLCS主催のクリスマスパーティーで授与されました。日本文化のイベントを自分で企画し開いてみて、改めて日本の良さに気付くことができました。加えて、日本の文化をどう伝えたらいいのかなど、異文化を持つ学生のことをより深く考えられたので、自分の成長にも繋がったと思います。とても楽しかったです。

7. 冬期休暇

友人の家族にHowthに連れて行ってもらいました。景色も綺麗でしたし、食べ物も美味しかったです。ダブリンから車で約30分ほどで行けます。

また、友人と一緒にGalwayを旅行しました。Galwayまでシティセンターからバスを利用しましたが、基本は事前予約が必要だそうです。私たちの場合は空席があったので予約なしで乗車できましたが、現金払いのみでした。大体15ユーロほどだったと思います。

す。ダブリンから約2時間半で行けます。交通の便がダブリンよりかなり悪いので、行く前に下調べをしっかりと計画を立てて行動することをお勧めします。私たちは何となくで行ったので、交通の面でかなり苦労しました。それ以外はとても楽しかったです。